

賃上げの流れを継続 労働条件の改善に向け全員で取り組む

青年女性委員会春闘学習交流学習会

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合九州地方本部
電話 096-354-1150
発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 3月1日 森林労連全国代表者会議
- 3月7日 分会代表者会議 (Web)
- 3月13日 共済組合運営委員会
- 3月14日 国連合春闘期人事院交渉
- 3月19日 事業方針(案)説明
- 4月10日 安全祈願祭

2025年2月24日〜25日にかけて「青年女性委員会春闘学習交流学習会」が開催され、分会から代表者19名、傍聴12名が参加しました。また、青年女性委員会中央常任委員会から、望月中央常任委員(中部地本)に來賓として参加して頂き開催されました。



今年も多くの仲間が結集!

冒頭、山形青年女性委員長より、「本集会有意義なものになるよう活発な発言をお願いしたい」と挨拶がありました。その後、加藤執行委員長より取り巻く情勢や、組織強化についての挨拶がありました。

また、中央青年女性委員会より中部地本の望月中央常任委員は、別途発出する青年女性委員会の機関紙「若葉」に掲載されることとなっておりますが、内容として「賃金のベースアップ、各種手当の支給条件緩和」「休暇制度の見直し」「看護休暇の対象年齢拡大、日数の増加」「昇格基準の緩和」「要員要求、内示の早期化」など様々な分野



会場であいさつする山形青女委員長

が来賓として参加され、他地本の活動や取り組みなどを交えて挨拶を受けました。開会后、分散会討論では、「生活実態」「職場実態」「将来展望」等の項目を設け、各分会で実態を積み上げてきた内容を共有し、青年女性全体の意見・要求を確認していきました。

詳細について

2日目は最終調整を行い、総務企画部長会見へと臨みました。継続課題については、昨年度に引き続き今年度も発言していきました。当局からは局段階で解決できるものについては改善に向けて取り組んでいき、挙げられた意見については現状を踏まえ上部へ申達していくとの回答がありました。また、局段階で解決出来るものについて、検討したいとの回答が得られましたので、今後も継続して改善に向けて取り組んでいくことを全体

春闘勝利に向け 取組方針を 全体で確認

2025.3.7 分会代表者 Web 会議



Web も活用して情報共有を

3月7日、Web会議による分会代表者会議を開催しました。冒頭、加藤地本委員長は「日頃より分会段階での取り組み、本部オルグ・地本オルグの受け入れ態勢に感謝申し上げます。昨年より地本委員会の代わりとして、春闘方針確認のため本会議をWeb開催としている。3点ほど話したいが①政治情勢



挨拶する望月中央常任

や選挙については、現在、野党が躍進している状況である。今後も引き続き取組をお願いしたい。②春闘について、2023春闘から賃上げも高水準となっているが、全体としては不満が残るものとなっている。今後も取組を進め、少しでも有利な状況になるよう取り組んでいきたい。③九州で組織率は90%を割り込み、地本としては危機感を感じている。組織化については、最も重要な課題であるため、今後、文書による指示を発出するので、取組強化をお願いしたい」とあいさつ。

引き続き、古村地本書記長から、2025春闘方針(案)として、①取り巻く情勢、②連合公務労協等の取組について、③賃金等勤務条件改善に向けた取組について、④2025年度予算及び組織・定員等、⑤国有林野事業の推進、⑥組織態勢の確立、⑦各級選挙、⑧当面の主要日程などについて、提起がありました。



熱心に話を聞く分会代表者

質疑討論では、「旅費についての様々な改正は今年の4月で間に合うのか不安に感じている。人事異動に係る移転料を国から運送業者へ直接支払うことについては、移転料に含まれるもの、含まれないものがあると思うので、まだまだ調整することがあるのではないかと感じている」「若年層は賃金が上がっており、今後賃金カーブがアンバランスになるのではないか」と疑問に思っている。「60歳以降の給与7割水準については、該当者がこれまでと同じ業務を行っていることが多く、モチベーションを維持出来ない状況であり、早期に改善してもらいたい」など、多くの意見が出されました。地本としても、引き続き取り組んでいくことを全体で確認していきました。

匠の腕シズク

「冬将軍襲来」

(撮影者 吉田 航:屋久島分会)



「匠の一言」
普段温暖な屋久島でもたくさん雪が積もりました。

少年輪

2025年度の日本の実質経済成長率見通しの記事を目にした。緩やかな上昇の見通しとの事だ。一方で、厳しい予想もあり、その背景には少子高齢化等の問題が障害となっていること。運動会での障害物レースではあらゆる壁を乗り越えなければならず、100m走は1位の人でも、障害物次第では最下位もありえるレースだ。どこかの記事で国内と某国の研究で、あるゲームにより「日本人は自己に損失が出てまでも相手に利益を与えない(損失を与える)傾向にある」という記事を見た。信用するかは個人の判断だろうが、本当なら多くの障害物を乗り越えないといけないのだから。しかし、その某国への経済支援もかなりの障害物になっていないか?昔笑点で歌〇師匠が〇楽師匠に対し、信頼関係の基に発言した伝説のギャグ(ギャグではなく回答)「馬が馬刺し食ってりや世話ねえや」と言った事はそういう事だったのか? (SUKI)

協定見直しに向け結集

大分 日出生台集會

1月25日、大分県玖珠町の河川敷で、連合主催の「日出生台集會」が開催され、九州各県の加盟労組などから3716名（主催者発表）が参加し、林野労組からも大分西部分会から連合の委員として2名が参加しました。その他にも九州各地から参加しました。

集會は、「日米地位協定の抜本的な見直しなくして住民の命

財産、暮らし、人権は守れない」との主権者あいつではじまり、世界情勢や、日本の軍事問題について講演がありました。最後に、在日米軍基地の整理・縮小などを求め、日米地位協定の抜本的な見直しなどを掲げる集會宣言が採択されました。

連合大分の石本会長からは「未来は一人ひとりの行動にかかっている」と述べ、団結が

パローで終了していききました。天候にも恵まれ、大きな天気の崩れはなかったものの、気温は低く、凍えるような寒さではありましたが、全員で寒さも吹き飛ばし、集會は有意義なものとして終了していききました。



天候にも恵まれ九州各地から多くの人が結集

分会段階でも意思統一

中央本部オルグ



鳴川書記長のオルグを受ける

月10日にオルグを受けました。オルグの冒頭、鳴川書記長からは「日頃から分会段階での取り組みに対して感謝を申し上げる。春闘方針等を全体で共有し、今後の意思統一を図りたい」との挨拶がありました。

その後、国内外の情勢、連合・公務労協等の取組について、2025年度予算や組織・定員について、国有林野事業の推進に向けた取組、組織態勢の確立、今後の選挙について、森林労連共済についてなど、様々な取り組みや、今後に向けての方針、問題点などの話を共有する事が出来ました。

分会からは質問・意見等として「共済掛金の上昇は加入者の減少が影響してきているのではないか」「要員の確保が重要である」といった質問や意見等が出されました。これらの質問に対し「マイカー共済については、団体割引等もあるが、危険率が高いため、割引率が少ない状況となっており、加入者数を増やして危険率を下げていくことが重要となっている」「要員については、一般会計に移行した時よりも減少しているが、その時の要員まで戻すよう取り組みを進めている。新規採用者数も増加している。今後も要員増に向けて取り組みを進めていきたい」との回答がありました。

今後も公務労協・国公関係部

資金活動の御礼

九州地本青年女性委員の団結強化を目的とした全体集會を開催する為、資金活動に取り組み、物販活動を通じて全員で協力して取り組むなど、組織強化に向け、地本・分会と連携し青年女性委員が中心となって取り組みを進めてきました。

今回、「森人タオル」の販売を展開しましたが、販売枚数は694枚と、当初の予想を超える結果となりました。

このことは、九州地本が一体となって、運動を取り組んだ成果と受け止め、全体集會開催に向けて大きく前進することができました。

この取り組みを通じ、今後の青年女性活動につなげていくことを常任委員会で確認しました。組合員をはじめ、ご家族の皆様、また多くの購入して頂きました皆様のご協力本当にありがとうございます。

【山形通信員・青年女性委員会

地本オルグ

全分会で終了

1月27日からのオルグ期間において、中央本部オルグを除く全分会において地本オルグを行いました。

オルグでは、現在の情勢や国有林野事業の推進に向けた各種取り組みなど、最新の情報を交えながらオルグを行いました。

会計検査時期と重なったこともあり、その準備等の対応を進める必要がある分会もありましたが、オルグの受け入れ態勢も整えてもらい開催に繋がっていく事が出来ました。この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。

オルグでは様々な取り組みや、今後に向けての方針、問題点などの話を共有していききました。分会からは「事業量は増えているが、人員は減少している」「旅費については改正が近づいているが、混乱が生じないように適切に対応してもらいたい」「併任が多いため人員の配置が必要である」「再任用職員の労働条件の改善が必要」といった質問や様々な意見等が出されました。

今後も地本と分会間で連携を強化しながら、2025闘争の



質問する下大迫さん(周分会)

2025年2月21日に「組織化対策会議」がWeb会議で開催され、九州地本からは歌野執行委員、加来執行委員（組行委員）が組織化対策会議に参加しました。本会議は2023年度から開催され、今年で3回目

あの人とあの人

「食に生きる男」

中村 帝さん(大分分会)



映画とおいしいごはんは中村まで!!

今回ご紹介するのは大分分会の食に生きる男、中村帝さんです。中村さんは、採用5年目で大分署は2年目となりました。仕事は、土木担当として上司とともに森林整備に欠かせない、林道の新設工事や復旧工事などに携わっています。

中村さんは、食を愛することが人生のすべてと言っても過言ではない男であり、彼の胃袋はまるでブラックホールのようになんか料理もあつという間に吸い込んでしまっています。休日などは、ひとりで外食に歩き大分市内を堪能しているみたいです。

中村さんのがっしりとした体格は、食べすぎの証ではなく食の芸術を追求した結果ともいえます。食べることを愛し、食べることでいつも周囲を笑顔にしてくれる中村さん。

今日もどこかでうまい飯を求めて彷徨っているかもしれません。また、映画鑑賞も趣味としており、毎月3本から4本、映画館へ行って楽しむ程の映画好きです。一緒に映画を見に行った際は、ポップコーンやチュロスをお供に映画を楽しんでおりました。映画が好きな方がおられたら、中村さんと映画談議に花を咲かせるのいいかもしれません。そして、大分に来られたら中村さんへおいしいごはん屋さんを尋ねてみてはいかがでしょうか。

(大分分会・山形通信員)

全国で加入拡大に向け取り組みを共有

組織化対策会議



冒頭、中央本部の鳴川書記長より「各地本においては本部オルグの受け入れに対して感謝申し上げる。意見を集約し、来週末の全国書記長で提起することとしていく。来年の組織化に向けて意思統一を図っていききたい」と挨拶がありました。

その後、議事により進められた。各地本から2024年度新規採用者の組織化に向けた取り組み状況について報告を行いました。取組状況としては「加入状況を分会に周知したり、同じ出身校の加入者から呼びかけを行い加入に繋がってきた」といった取り組み

九州うつぱん インターネットいつでもどこでもお申込みOK!

カーライフローン 教育ローン キャンペーン

キャンペーン期間：2024年8月1日(木)～2025年3月31日(月)

変動金利 **1.95%** (年)

カーライフローン 年2.15% (～2.45%)

教育ローン 年2.35% (～2.65%)

現在、高金利でローンを組んでいる方はいらっしゃいませんか? 借換をすることにより、返済額を減らすことができるかもしれません! 一度、シミュレーションだけでも取ってみませんか? 詳しくはお近くのろうきんへ!

記事を募集しています!!

分会で開催した様々なイベントや会議、地域の集會等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。

E-mail sinrin14-kaku@siren.ocn.ne.jp (教宣担当)